

兵庫県保険医協会神戸支部 第42回総会・記念講演のご案内

アルツハイマー病の早期診断について —最近の話題—

日時 10月16日(土)14時30分~16時30分(総会議事14時30分~、記念講演15時~)

会場 兵庫県保険医協会 会議室

講師 兵庫医科大学病院 脳神経内科 教授 **武田 正中** 先生

会場定員 30人 参加費 無料

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、必ず事前にお申し込み下さい。

記念講演はオンラインでの視聴も可能です。

わが国の認知症患者数は、2025年には約700万人になると予想されている。認知症の原因疾患としてアルツハイマー病(AD)が最も多く5~7割を占める。その診断法および疾患修飾薬(根本治療薬)が待ち望まれている。

AD治療の研究は、現在は抗アミロイドβ療法が主体であり、早期AD、軽度認知障害(MCI)やpreclinical ADへと対象がシフトしている。この疾患修飾薬が使用可能になった時には、治療標的分子(アミロイドβ)の存在を確認する検査が必要になる。

実際の臨床でのADの診断は、臨床症状・経過、認知機能検査、脳MRIや脳血流シンチグラフィ検査などで行われている。今後の疾患修飾薬の使用を見据えて、アミロイドPETなどの画像検査、脳脊髄液と血液の体液バイオマーカーの開発が進んでおり、臨床や研究に使用されつつある。これらの最近の話題を取り上げ解説する。

【武田 記】

*お問い合わせは TEL 078-393-1840 神戸支部担当 島・小西まで

【神戸支部総会来場参加申込】 FAX 返信:078-393-1820

・総会議事(14時30分~) 参加 不参加(議事の一切を議長に委任します)

・記念講演(15時~16時30分) 参加()人 不参加

地区 _____ 医療機関・施設名 _____

お名前 _____ TEL _____ FAX _____

【オンラインによる参加の申し込み】

右のQRコードもしくは下のアドレスから前日までにご登録をお願いします。



<https://bit.ly/2XITAwJ>

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

348号

2021年9月25日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

神戸支部研究会 感想文

社会的背景とコロナ禍の関わり学ぶ



阿江先生(左)が、医療・福祉の制度や問題点を説明

神戸支部は7月10日、協会会議室にて、兵庫県高齢者生協理事長・神戸女子大学客員講師の阿江善春先生を招いて研究会「患者さんに役立つ コロナ禍のいま知っておきたい医療・福祉の制度」を開催。会場とオンライン視聴合わせて47人が参加した。浅田真由氏の感想を紹介する。

今回の「患者さんに役立つ知っておきたい医療・福祉の制度について」の内容は、病院の相談窓口で働く私にとって、とても興味深い内容であり、また元MSWで現在私の卒業大学に在籍されている阿江先生が講演を行ってくださるとのことで、お会いできるのを楽しみにしておりました。

制度の内容を細かく教えていただくセミナーのようなものと予想しておりましたが、過去の社会的背景が現在のコロナ禍で起きている問題点へとつながっていく過程を説明して下さった上で、制度があるにも関わらず利用できずに苦しんでいる方々、なぜそのような方が出てしまうのかという現状と理由を知ることができました。

(2面へつづく)

(1面のつづき)

病院勤務の私がすべきこととして、患者さんが何に不自由されているのか、利用できる制度はないか考えることは基本ですが、「なぜ」だけで終わらずに「何のために」(阿江先生に助言いただきました)支援が必要か考えていかなければ、せつかくの制度利用も患者さんにとって機能できていない状況に陥る可能性もあるのではないかと感じました。

今回、制度だけでなく相談員としての考え方も教えていただくことで気づかされることが多く、自分の視野の狭さも知ることができました。最後にこの研究会を開催してくださった保険医協会神戸支部の皆さまにも感謝申し上げます。病院外の方のお考えや情報を伺うことのできる貴重な場を提供していただきとてもありがたかったです。

【神戸大学附属病院・患者相談窓口 浅田 真由】

兵庫県保険医協会 神戸支部
評議員・予備評議員(医科)選挙公示

兵庫県保険医協会
理事長 西山 裕康

協会規約31条の2及び協会役員等選出規定の第3条の2により、評議員・予備評議員(医科)選挙の公示を行います。

兵庫県保険医協会規約 第32条

評議員は、本会の方針に沿い、各支部又は歯科部会の活動の中心となる。

2. 評議員は各支部又は歯科部会を代表し、所属する会員の意見を集約し評議員会に反映する。

3. 予備評議員は、評議員を補佐するとともに、評議員会に評議員欠席の際には評議員として出席する。

【任期】 2年

【改選日】 10月16日(土) 神戸支部第42回総会(会場:保険医協会5階会議室)

【立候補日時締切】 10月9日(土) 正午 ※改選日の1週間前

【立候補届出の方法】

立候補希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。「立候補届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。なお、歯科については歯科部会で選出します。

西区社会保障推進協議会・第17回総会

コロナ禍のなか住民の要求に基づいて活動を

地域の住民らとつくる西区社会保障推進協議会は8月8日、西区文化センターで第17回総会を開催。加盟各団体から18人が参加した。

会長を務める柏木一英協会評議員(西区・柏木歯科)が「私が開業した40年前は、中曽根臨調行革が始まったころだった。当時、社保本人は0割だった窓口負担が引き上げられ続け、現在に至っている。このコロナ禍のなかで、住民の要求に基づいて活動を行っていきたい」とあいさつ。



あいさつに立った柏木評議員

総会では、柏木会長らが再任されるとともに、後期高齢者2割負担実施の反対運動の強化や、区役所の懇談の実施・充実などの新年度方針が承認された。

学習講演会として、兵庫県社会保障推進協議会事務局次長の高山忠徳氏が「コロナ禍における社会保障推進協議会、神戸市協議会の秋のとりくみについて」として、新型コロナウイルス感染拡大で、病床が削減され、医師数・看護師数が抑制され、保健所機能も弱体化させられてきた医療費抑制政策の問題点が明らかになったとし、当面の課題として75歳以上の後期高齢者医療の窓口負担2割化実施阻止があるとした。

神戸市の課題としては、今年10月から保険料収納対策を「区役所窓口での保険料徴収中心」



75歳以上の窓口負担2割化の実施阻止のため、大きな運動が呼びかけられた

から「滞納処分中心」へ転換するとし、滞納処分事務の新長田の税部門への集約が行われ、国保保険証の短期証の区役所窓口での更新をとりやめ、郵送に変更するとともに、滞納処分の強化を行う方針であると紹介。保険料が支払えない市民への丁寧な相談やフォローができなくなる可能性があるとして、社保協として区役所への申し入れ等を行ってほしいとした。